

# AIは「共著者」になれるか？日本発・AI共著論文誌構想の全貌

## 構想のロードマップと実装



### BPPB for AI

2026年6月：5カ年事業として公式発表  
JSPSの支援を受け、仮称「BPPB for AI」の創刊を目指す。



### 既存誌BPPB内に 新カテゴリを常設

"Research with AI Scientists"  
を設け、AI共著論文の受付を  
開始。



### AI査読者・ AI編集補助者の試行

セキュアな環境でのAIによる  
査読・編集支援体制を構築する。



## 国際標準との「緊張」と論点

### 国際指針は「AIの著者資格」を否定

NatureやICMJEは、AIは説明責任を負えない  
ため著者と認めない。



### 「日本から国際的に新しい出版モデルを提示」 責任の所在と人間による担保

AI利用時も、人間が内容の正確性と  
非剽窃を保證することが国際原則。

## 主要な出版指針と今回の構想における「AIの扱い」の対比

組織・雑誌名	AIの著者記載	査読へのAI利用
BPPB for AI (構想)	受理・推奨方向	積極的に試行・導入
Nature / Science	厳格に禁止	原則禁止 (機密保持)
ICMJE / COPE	不可 (人間のみに)	透明性と開示を要求